

2024年度 町田市グループホーム連絡会活動報告書

1. 2024年度活動方針

1. 町田市グループホーム各事業所の質の向上
2. グループホームのサービス・活動内容の啓蒙活動
3. 認知症専門サービスとしての地域への還元
4. 他職種との連携強化（地域包括ケアシステムの推進）
5. 圏域毎のブロック化による、地域に密着したブロック単位の情報共有・活動の活性化
6. 町田市介護サービスネットワークへの事務局の委託による運営負担の軽減

2. 総括

(1) 全体として

町田市グループホーム連絡会としての活動は感染症も落ち着き、計画していた版画美術館の作品展や各圏域での報告が対面で開催することが出来た。主な活動としては、総会、定例役員会、全体定例会のなかで意見交換会を行う。また、町田・安心して暮らせるまちづくりプロジェクト推進協議会へ参加。定例会のなかで感染対策やワクチン接種、BCP 等についての意見交換や情報共有を行った。

3. 活動報告

(1) 町田市グループホーム各事業所の質の向上

- ①情報交換（各圏域ブロック・施設の取組、等）は各圏域ごとに集まり貴重な情報共有が出来た。
- ②連絡会主催の「職員交流会」は感染防止の観点から中止した。

(2) グループホームのサービス・活動内容の啓蒙活動

①活動報告会

各圏域で実施
堺・忠生地区
鶴川地区
町田地区
南地区

- ②作品展示会 感染症も落ち着いたため10月に開催（2日間）

③地域行事参加

各地域・自治体のお祭りでの参加（コーラス等）。
感染対策をしっかりと徹底して参加。

(3) 認知症専門サービスとしての地域への還元

①施設の開放

個別相談会、認知症カフェ等の企画・呼びかけ。
催し物は各施設判断で行い、問合せ等による個別の相談に対応。

②災害時の被災者受け入れ

行き場のない独居高齢者などの一時的な受け入れ。
特に大きな災害もなく、被災者の受け入れはなし。

③認知症セミナーの開催

高齢者支援センター等と連携し、各地区で認知症セミナーを開催。

(4) 他職種との連携強化（地域包括ケアシステムの推進）

- ①行政、各連絡部会への参加、グループホーム連絡会内の情報共有
(町田市、まちプロ、医師会、介護サービスネットワーク、認知症施策推進協議会)
RUN伴などにも積極的に参加。
- ②各圏域での地域ケア会議への参加等

(5) 圏域毎のブロック化による、地域に密着したブロック単位の情報共有・活動の活性化
ブロック毎の地域性を考慮したイベントは圏域ごとに行う。施設間の情報共有に関しては各所で行った。

- (6) 町田市介護サービスネットワークへの事務局の委託による運営負担の軽減
①運営にかかる役員の運営負担の軽減

(7) 合同運営推進会議
合同の運営推進会議は開催出来ませんでした。

(8) 事業所空き情報
会員事業所に対して「町田市介護人材開発センター」のホームページに「グループホームの空き情報」を毎月更新・掲載、関係機関へメールでの周知を行った。

- (9) 町田・安心して暮らせるまちづくりプロジェクト推進協議会
この協議会は、町田市の在宅医療の普及、医療と介護を始めとした多職種連携の促進等を図り、地域包括ケアシステムの構築を目的としている。
2024年度委員 いこいの郷花梨・成瀬 鱒 隼人
- ① 委員として連絡会より選出。1名が代表、3回のうち3回の協議会に参加している。
 - ② かかりつけ医機能報告制度について町プロ内で情報共有をして、地域の方々にも制度を知ってもらう機会を作り、町田市を盛り上げている。
 - ③ 多職種連携研修部会では10/12(土)「今日を知って明日を語ろう」
～フレイル測定と人生会議～の研修を行い、外部からも多数の方が参加されて研修部会でも今後の町田市発展に向けて良い機会となった。